

# 会 議 録

会議名 第3回国見版 CI（コーポレート・アイデンティティ）策定検討委員会  
日 時 令和5年3月24日（金）14：00～15：50  
出席者 委員：9名（齊藤委員長、持地委員、佐藤委員、三栗野委員、齋藤委員、阿部委員、  
近久委員、上神田委員、原田委員【オンライン】）欠席1名（鈴木委員）  
町 町長、副町長、（事務局）企画調整課 木村係長、舟山主査  
傍聴：2名

## 概 要（グループワーク・講評）

【発表】

### ・Aグループ

#### ■スローガンについて

- ・変わっていく国見ということで、「Kuniming」と表現されているが、英語なので高齢者には伝わりづらい。「ing」が進行形とは浸透しにくいと感じるので難しいキャッチコピーと感じた。
- ・「バレー」…「シリコンバレー」などかっこいい表現だが、きちんと伝わるか不安
- ・「国見の逸品」「センス香る」「小さな町の逸品暮らし」等褒めるワードがありますが、町民は自分たちをあまり褒めないなので、町民にメッセージが伝わるのか疑問に感じた
- ・「ほれぼれ」かわいい。ちょうどいいワード（女性からの意見）  
ひらがなで柔らかく、繰り返しの表現として伝わりやすくていいと感じた

#### これがいいと感じたスローガン

OB 案「千年の品格 巡る町国見」

⇒ 何が千年なのか気になって調べたくなる。国見町に対してアクションを起こしてくれるフレーズ

OG 案「ほれぼれ国見バレー」

⇒ 「ほれぼれ」という表現がすき。雰囲気がいい

OI 案「毎日が旬国見上質暮らし」

⇒ 農家になって作物の「旬」を知った。旬を味わうって「粋」「贅沢」だと思った

#### それぞれがいいと感じたフレーズを併せたもの

→「千年の品格、旬めぐるくにも VALLEY」

#### ■ロゴデザイン

ロゴを見てここに行きたいと思わせる。国見って何だろう？ 気になるとしてもらえるものにしてほしい。

- ・「福島県」は入れてほしい！  
⇒ ふくしま or 福島？ ひらがなと漢字表記で印象が全く異なる
- ・ローマ字など「横文字」が入っていると抵抗あり
- ・国見町の読み方がわかるようにしてほしい
- ・国見「町」をつける？ つけない？ どちらがいいのか

### 気に入ったロゴ

- フルーツのアウトラインを重ねた、丸いシンプルな線を重ねたりんごっぽいロゴがかわいい
- C案(国見自慢イラスト) ⇒ 情報量が多く、「国見って何だろう?」と思わせるデザイン

## ・Bグループ

### ■課題・疑問・修正意見

- ・ パッと見てシンプルな方がいろいろな人に伝わるのではないかと思った。
- ・ デジタル感が強いものよりは手書き寄りの方がいい  
→ 国見のあたたかみが伝わるのではないか
- ・ バレー(盆地)という言葉には住んでいる人からするとネガティブなイメージがある。(暑い寒いが極端な気候)
- ・ 一目見た感じのわかりやすさが重要。マークに多くの文字があると伝わりにくいのではないか
- ・ 「逸品」や「品格」といった言葉はちょっと豪華すぎるのではないか  
「上質」はピッタリな言葉だと感じた

### 「上質」について

国見町民にとっては当たり前のこと(果物や四季など)ではあるが、他県や他の地域の人にとっては「上質」なもの。そのことに町民が気づいていないため、発信がうまくいっていない。

国見の「上質」な暮らしを伝える手段として、春から冬までの四季を感じることができることと、果物や野菜が美味しいなど、体験をすることで国見らしさが伝わるのではないか。

⇒ 「上質な国見暮らし」「千年の上質国見町」

## ・Cグループ

### 国見版CI策定の目的につながっているか

- ・ 認知度や価値の向上につなげるには、グラフィックのデザインや言葉の選び方、フォントの選定や、タイポグラフィの活用など先進的であることが必要  
⇒ 提案されたデザインのモチーフが単純なものの組合せになっている  
※タイポグラフィ：書かれた文字を視覚的で魅力的に読みやすいテキストに配置する技術
- ・ デザインのプロセスが、町民の皆さんへヒアリングして、色々な人の意見を聞いてまとめているので、対象が広くて老若男女誰でも受け入れられるものになっている  
⇒ 他市町村との違い、差別化が難しいと感じた
- ・ 住み良い町であることは伝わる(農産物がおいしく、人があたたかい)が、そこに住みたい、新しいことが起こっていくまちと思えるような表現が足りないと思う
- ・ 使いやすさを考慮すると色やモチーフはないほうが良い  
⇒ 黒や白の方が使いやすいのではないか

#### 町のイメージと提案内容があっているか

- ・国見町の良さ＝「柔軟さ、外の人を受け入れる気風」  
⇒今のデザインでは表現されていないように感じる
- ・これから何かはじまっていく期待感を、言葉（「Kuniming」など）ではなくグラフィックで表現すべき。

#### 町外だけでなく、町民に伝わりやすいか

- ・町民には伝わりやすいと思うが、これまでの国見町と変わらないという印象  
⇒「変えていく」という表現を出すべき
- スローガンをもう少し絞って、言葉の選定を再考する必要がある
- 「国見町」という漢字の文字やフォントの統一的なものを検討すべき

#### 【講評】

##### ・斉藤睦委員長

AグループとBグループは比較的似たタイプの受け止め方と発表だったと思います。例えば「VALLEY」という言葉に多少の引っ掛かりがある。「逸品」という言葉が強すぎる。それより「上質」の方がいい。こういった言葉が与えるイメージに関し、それぞれが思ったことを中心に、「上質」がこの中では一番いいのではないかといった意見や受けとめ方を教えていただいて、作り方の参考になると思いました。

Cグループは少し異なり、言葉自体やモチーフ（例えば、桃などの素材）を使うよりは、文字そのものが与える印象に関しての表現の仕方があるのではないかと、国見町はいい町であることは伝わるかもしれないけど、国見に住みたいなど外側に向けてアピールする際に伝わるものや呼び起こすものがあるのかどうかということについて、もう少し工夫の仕方があるのではないかと提案しています。

議論も3回目になったので、自分の考えに関する表現の仕方が分かりやすくなっていると感じます。今後のCI作成の参考になると思いました。

※資料として使用した、委託業者作成のスローガン及びロゴデザインのイメージラフ素案については著作権の関係上、ホームページには掲載しておりません。

閲覧を希望する方はお手数ですが企画調整課窓口までお越しく下さい。